



中野区議会議員

酒井 たくや

REPORT | 令和四年 秋号 |

災害から中野を守る！

こんにちは、中野区議会議員 酒井たくやです。

生まれ育った淡路島が阪神淡路大震災で大きな被害を受けました。

だからこそ、第二の故郷「中野」を守るため災害に強い街づくりにこれまで取り組んで参りました。

東京都防災会議が「首都直下地震による被害想定」を10年ぶりに見直しました。

耐震化・不燃化施策等の推進による防災への取り組みにより、東京都の被害想定は改善されました。

前提は違いますが、中野区における最大被害想定を比較のため掲載しました。是非、ご覧下さい。



首都直下地震による中野区最大被害想定

2022年

人的被害

死者	98名
負傷者	2,301名
避難生活者数	48,402名
区内滞留帰宅困難者数	288,721名

建物被害

火災焼失棟数	1328棟
--------	-------

ライフライン被害

停電	6.1%
ガス停止率	10%
上水道 断水率	17.4%
下水道 被害りつ	3.9%
通信不通率	2.3%

前提条件

想定地震：多摩東部直下地震
規模：M7.3 震度6～6強
季節等：冬の夕方18時、風速8m/秒

2012年

死者	214名
負傷者	2,415名
避難生活者数	49,925名
区内滞留帰宅困難者数	213,227名

火災焼失棟数	7,222棟
--------	--------

停電	17.7%
ガス停止率	26.8～74.2%
上水道 断水率	24.8%
下水道 被害りつ	28.1%
通信不通率	10.6%

想定地震：東京湾北部地震
規模：M7.3 震度6～6強
季節等：冬の夕方18時、風速8m/秒



区長と防災について意見交換

数値は一定改善されましたが、想定結果には限界があります。

避難生活者数は微減で、区内滞留帰宅困難者数は増となっている事には注視が必要と考えます。

私がこれまで訴えてきた「避難所を我慢比べの場所にしない取組」「帰宅困難者への避難所における対応のルール化」が益々求められます。

また、複合災害への対応、ライフラインの被害の拡大を抑える取組、高層マンションの防災対策等も進めなければなりません。

区は、今回の報告を受け地域防災計画の改定に取り組んでおります。





避難所を我慢比べの場所にしてはならない！

スフィア基準を参考に



被害想定は改善されているものの、避難所生活者数は横ばいであります。
 災害発生から避難所へ辿り着いても、慣れない避難生活でのストレスによる持病の悪化など、様々な要因が重なって命を落とす災害関連死が起きる事例も、昨今見受けられます。
 避難所を快適なスペースに出来れば一番ですが、それが難しければ、せめて我慢比べの場所にならないような取り組みが必要です。

※スフィア基準を参考にしながらの避難所運営が求められます。

用語解説

スフィア基準とは、被災者の権利と被災者支援の最低基準を定めた国際基準です。
 基本理念には「被災者は尊厳ある生活を営む権利がある。」「災害による苦痛を減らすために実現可能なあらゆる手段をとらなければならない。』とあります。
 例えば「避難所のトイレの男女比は1:3」など、これは約400頁にも及ぶハンドブックの中の一部です。

クイズ

高知県の避難所での工夫は？

認知症や妊婦など14タイプ別の支援方法ガイドラインを作成

答え

「在宅避難」の備え

「災害が起きたら避難所に行くしかない」そう思いませんか？

避難所で生活することは選択肢のひとつに過ぎません。
 避難所では環境の変化などにより体調を崩す人もいます。
 また、見知らぬ人と共同で過ごすことになり、プライバシーを守ることが難しくなります。
 自宅で安全が確保できる場合は避難所に行く必要はありません。
 在宅避難ができる準備を整えておくことが大切です。



防災対策に災害弱者と女性の視点の導入を提案



東日本大震災伝承館と大川小学校跡施設を視察

避難所に防犯ブザー・ホイッスル(女性や子供が守られるよう)の配備を

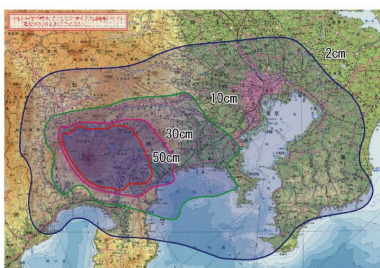
女性が少な過ぎる区の防災課と避難所運営会議に女性の登用を

個別避難支援計画の対象を高齢者、障害者から乳幼児や妊産婦、傷病者、難病患者など要配慮者へ拡充を

要配慮者の視点を避難所運営に導入を

首都圏にも甚大被害!? 富士山噴火への備えは万全か

富士山火山防災対策協議会が噴火想定ハザードマップを17年ぶりに改定



降灰の可能性マップ

富士山は300年間噴火しておらず、ため込んだエネルギーが一気に解放されれば、東京にも火山灰が降り積り、首都機能に大きな影響が出ると予測されております。

政府は火山灰がたった3ミリ積もるだけで、交通の麻痺や大規模停電、断水などが起きる可能性を指摘。東京23区は、2センチの火山灰が降ると言われております。

しかし、地域防災計画には火山対策については一切触れられておらず、早期に火山対策を検討すべき。防災部長答弁 計画に記載して行く。



区政へのご意見ご要望ございましたら
 お気軽にお申し付け下さい。

03-3228-8876 (平日)10時～17時

発行:立憲民主党・無所属議員団 中野区中野4-81
 Phone.03-3228-8876 Fax.03-3389-8718

酒井たくや プロフィール MAIL takuya117sakai@icloud.com

1974年1月17日兵庫県淡路島生まれ。大阪学院大学法学部卒業
 会社員、お笑い芸人活動、アントニオ猪木営業軍団トップセールスマン、政治家秘書を経て、2003年初当選 現在5期目 中野区議会副議長
 東中野4・5丁目町会青年部、東中野本通り商店会共栄会青年部、中野消防団第六分団団長、白桜小やじの会所属、桃園第二小学校 呼び
 かけ隊隊長、青少年育成昭和地区委員会副委員長/体育部部長
 家族/妻・娘(まこと幼稚園卒) 趣味/野球・プロレス観戦など

住所 東中野5-18-16W211 TEL&FAX 03-5386-2838